

序

社会医療法人財団白十字会 理事長 富永 雅也



社会医療法人財団白十字会は、1929年、初代理事長富永猪佐雄が佐世保市宮崎町に診療所を開いて以来、長崎大学、福岡大学、佐賀大学や医師会の先生方を始め、関係各位のご指導とご援助をいただきながら、昭和・平成と80数年間を歩んでまいりました。

2012年は、東日本大震災や原発事故の傷が癒えぬ中、東北の皆様をはじめ日本全体が一丸となって立ち上がり、少しずつ復興への道を歩み始めた年でした。また、夏にはロンドンオリンピックが開催され、日本選手団の大活躍に全国民が感動いたしました。特に団体競技での日本選手の活躍が目立ち、改めて日本人の団結力、「チーム・ジャパン」の底力に気が付く事ができました。

さて、医療業界は日本の人口動態から見て、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となるいわゆる「2025年問題」が大きな課題となっております。患者さん個人の病気を治すだけでなく、地域全体の高齢者に対するケアが必要とされています。

佐世保中央病院はこれまでも、2008年に地域医療支援病院の認定、2009年に地域脳卒中センターの認定、2011年1月には長崎県がん診療連携推進病院の指定を受けました。そして、2011年度より、社会医療法人財団として救急医療をはじめとした急性期医療を実施し、地域医療の中核を担っております。

さらに、これからは医療と介護、多職種・多施設、急性期医療から在宅医療までを『繋ぐ』地域医療が求められます。佐世保中央病院においても職種間が最大限に協力する「チーム医療」を推進し、白十字会全体でこの『繋ぐ』医療を実現すべく、職員一丸となり動き出したところです。

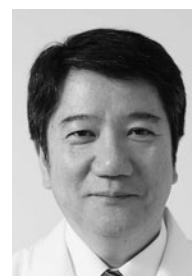
さて、このたび、関係各位の尽力により佐世保中央病院の2012年度病院年報が完成いたしました。この中には、植木院長のリーダーシップのもと、スタッフ全員が「自分たちに今、何が出来るのか」を考えて活動した結果が詰まっており、手に取っていただいた皆様に、私ども白十字会の『いま』がどのようなものであるかを感じ取っていただけると確信しております。

白十字会のチーム医療はスタートラインに立ったばかりですが、医療の消費者である、市民の皆様は佐世保中央病院をはじめ白十字会をこれまで以上に支持していただけるよう、私どもは今後も努力を重ねてまいります。

いつも佐世保中央病院に賜りますご厚情に深く感謝、お礼を申し上げ、関係各位の今後とものご指導とご援助をお願い申し上げます、序文といたします。

平成24年度 佐世保中央病院活動報告 (Annual Report 2012) 刊行にあたって

佐世保中央病院長 植木 幸孝



「Annual Report 2012」の刊行を大変嬉しく思います。2006年度から病院の1年間の活動を一冊にまとめようと始めてから早7年、年ごとに内容が充実してきました。病院内のすべての職員の皆さんがこれを読み、1年の歩みを思いながら、次年度への努力を養うきっかけとなれば幸いです。また、病院外の皆様には、佐世保中央病院のアクティビティを観ていただければと思います。

佐世保中央病院は、2013年4月で社会医療法人財団3年目となりました。2012年度も2011年度とかわらず1800台を越える救急車を受け入れ、救急医療に積極的に取り組みました。今後も、国が定める医療計画上の5疾病5事業の中心的な役割を担う社会医療法人として活動して参ります。

佐世保中央病院は、1995年9月に現在の地に新築移転し、34の診療科を有する長崎県北部の中核病院になりました。それから早18年が経過し、今では患者数の増加に加え、外来・病棟・各部門の機能分化を進める中でかなり手狭になってきました。2012年から増改築が始まり、2013年4月に北棟（放射線技術部・臨床検査技術部）の完成を経て、5月から、いよいよ南棟（5階建て）の新設・院内改築工事が始まります。2014年には、新たに外来棟の拡充・7病棟体制等がスタートする予定です。この間、騒々しいと思いますがご理解のほどよろしく願いいたします。

さて当院ではこれまで、富永理事長の指導のもと多職種協働・チーム医療を先駆的に進めてきました。いまや全国的に注目されている部門もあります。安全・安心の地域医療を支えるには、医療・介護・福祉がしっかり連携しなくてはなりません。2013年は、白十字会内で、多施設での多職種協働を推し進め、今まで以上に強力で連携し、医療・介護・福祉を守ってゆきたいと思っています。職種、施設を超えた連携をお願いしたいと思います。

現在、職員総数約730名（常勤医師数45名、非常勤医師数29名）で運営していますが、職員一同協力して各部門連携（多職種協働）し、急性期病院として患者さんに満足される質の高い医療を提供したいと思います。また、社会医療法人に課された公益性を認識し、地域の皆様が望む安全・安心の医療の提供へ努力します。今後とも関係諸機関と地域の皆様のさらなるご協力、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

CONTENTS

序

刊行にあたって

1 病院概要

沿革	6
理念・方針	11
基本情報	14
病院の取り組み	18
地域医療支援病院	19
臨床研修指定病院	22
地域脳卒中センター	23
認知症疾患医療センター	23
長崎県指定がん診療連携推進病院	24
日本医療機能評価機構認定施設	24
メディカル・ネット99	25
PREMISs	26
ISO15189	27
東北被災地応援ツアー	28
学会認定施設	29
施設基準	30
電子カルテ(HOMES)紹介	32
ボランティア活動	32
白十字会Institute	33
病院統計	
紹介率・逆紹介率	35
外来延患者数、1日平均外来患者数	36
入院延患者数、1日平均入院患者数	37
平均在院日数(亜急性期除く)	37
平均在院日数(亜急性期含む)	38
病床稼働率(静態)	38
1日平均在院患者数(静態)	38
新規入院患者数	39
救急統計	
救急外来受診者数と救急車搬入数	40
救急外来受診者の年齢分布	40
救急外来の診療科別内訳	41
救急車搬入時の診療科別内訳	41
救急外来受診者数と救急車搬入数	40
診療情報統計	
疾病大分類	42
疾病大分類(推移)	42

悪性新生物	43
悪性新生物上位15部位(推移)	43
退院患者(上位30疾患)	44
死亡退院患者率	45

臨床評価指標

入院中の新規褥瘡発生率	46
転倒・転落率	47
手術が必要となった入院中の転落	47
輸血製剤廃棄率	48
糖尿病の患者さんの血糖コントロールとHbA1c (HbA1c<7.4%の割合)	49
術中・術後の大量輸血患者の割合	50
入院患者におけるリハビリ実施率	51
感謝状	52

満足度調査	53
-------	----

2 診療科

外来診療担当表	58
循環器内科	60
呼吸器内科	62
神経内科	64
内分泌内科	66
外科	67
脳神経外科	70
心臓血管外科	72
小児科	74
泌尿器科	76
皮膚科	78
放射線科	80
耳鼻咽喉科	82
麻酔科	83
病理部	84
糖尿病センター	86
リウマチ・膠原病センター	88

人工透析センター	90
認知症疾患医療センター	92
消化器内視鏡センター	94
健康増進センター	96
学会発表実績	98

3 各部

看護部	114
薬剤部	120
放射線技術部	122
臨床検査技術部	124
臨床工学部	126
リハビリテーション部	128
栄養管理部	130
感染制御部	132
医療安全管理部	134
臨床研究管理部	136
事務部	
医療事務課	138
医局秘書課	139
資材課	140
施設課	142
システム開発室	143
総務課・財務課	144
地域医療連携センター	145
健康管理部	148

4 委員会

委員会組織図	152
活動報告	
病院機能向上推進室会議	153
倫理委員会	154
診療録等開示委員会	155
治験審査委員会	156
臨床研修プログラム委員会	157
医療安全管理対策委員会	158
院内感染対策委員会	159

栄養管理委員会	160
輸血療法委員会	161
臨床検査精度管理委員会	162
栄養給食委員会	163
医療廃棄物処理委員会	164
医療ガス安全管理委員会	165
放射線障害防止専門委員会	166
防火管理委員会	167
労働安全衛生委員会	168
病床運営委員会	169
救急部運営委員会	170
手術室運営委員会	171
ICU運営委員会	172
薬事委員会	173
クリニカルパス委員会	174
医療情報管理委員会	175
診療録監査委員会	176
保険診療検討委員会	177
物品管理委員会	178
広報委員会	179
図書委員会	180
個人情報保護運営会議	181
がん化学療法レジメン審査委員会	182
地域医療支援病院運営委員会	183
省エネルギー推進委員会	184
医療機器安全管理委員会	185
健診委員会	186
医薬品安全管理委員会	187
DPC委員会	188
提案委員会	189

5 巻末資料

院内行事	192
医療機器紹介	194
患者会・家族会活動実績	205
資格取得奨励支援制度	208
提案制度	209
学会発表実績	210